

# 予算特別委員会

3月9日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。令和8年度一般会計予算をはじめ、4つの特別会計予算及び下水道事業会計予算が付託され、3月16日から18日の3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算及び後期高齢者医療特別会計予算は賛成多数で、渡瀬南部第二産業団地造成事業特別会計予算及び下水道事業会計予算は全員一致で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと議決されました。

## 市長の提案説明による主要な施策

### 『危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち』

災害時用品の計画的な備蓄や自主防災活動の支援に引き続き努めるほか、関係機関等と連携した市総合防災訓練を実施し、地域防災力の向上を図ってまいります。また、ごみステーション設置等補助金を創設し、ごみの減量化や適正処理を推進してまいります。さらに、脱炭素ライフスタイル推進補助金を創設し、家庭における温室効果ガス排出抑制や災害時の停電に備えるための支援を拡充するほか、公共施設における計画的かつ効果的な太陽光発電設備等の導入に向けた調査を実施いたします。

### 『地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち』

高校生世代までの医療費無料化を引き続き実施し、子育て支援を推進するほか、生活困窮者自立支援事業を実施し、生活に困窮されている方に対し、早期の自立促進を図るとともに、支えあふ地域づくりを推進してまいります。また、野菜摂取推進店（ベジ活応援店）登録制度や運動啓発事業等の健康づくりを通じ、健康寿命の延伸に努めてまいります。さらに、各種健康診査やがん検診等を実施し、早期発見・早期治療を推進するほか、RSウイルス感染症予防のための母子免疫ワクチン接種を新たに実施するなど各種予防接種の推進に努めてまいります。

### 『育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち』

こども食堂支援事業補助金を創設し、子どもの居場所づくりに取り組む団体を支援するなど、地域での見守り体制を推進してまいります。また、妊婦初産科受診料の助成や乳幼児健康診査において新たに5歳児健診を追加するなど、母子の健康保持・増進と経済的負担軽減を図るほか、子育て支援誕生祝品の給付や産後ケア事業など、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するとともに、小・中学校給食費の完全無償化を実施し、子育て世代の経済的支援及び少子化対策に努めてまいります。さらに、小・中学校児童生徒用一人一台端末の更新、小学校の屋内運動場の空調設備設計及び中学校の屋内運動場空調設備設置工事を実施し、教育環境の向上に努めるほか、日本語指導助手を増員するとともに、日本語学習プレクラスを新たに設置し、日本語指導を必要とする児童生徒に対して日本語の初期指導及び学校適応指導を行い、円滑な学校生活のスタートを支援してまいります。加えて、日本遺産推進事業において、引き続き「里沼」を生か

した体感型の事業を展開するほか、館林市日本遺産推進協議会が実施する普及啓発活動や人材育成を支援するなど、シビックプライドの醸成、ブランド力向上及び交流・定住人口の増加に努めてまいります。

### 『都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち』

企業誘致による税収、定住人口の増加を図るため、新たに渡瀬南部第二産業団地造成事業に取り組むほか、住宅リフォーム資金助成金やデジタル地域通貨の発行など、地域経済の活性化に努めるとともに、中央通り線出店促進事業の実施や創業支援事業補助金などにより、まちなかの活性化や創業者の支援に努めてまいります。また、アライグマ等野生動物による農作物被害を防ぐため、害獣駆除を強化するほか、新規作物導入支援事業費補助金を引き続き実施するなど、地域農業の担い手や新規就農者を支援してまいります。さらに、マイナンバーカードを活用した高齢者等タクシー料助成事業により、制度の充実を図るほか、茂林寺前駅西口を引き続き整備し、駅利用者の利便性の向上に努めるとともに、館林駅東地区のまちなか再生未来ビジョンを策定し、まちなかのにぎわい創出によるウォーカブルなまちづくりに取り組みます。加えて、つつじが岡公園内イルミネーション事業やつつじが岡ふれあいセンターのウォールプロジェクションシステム導入など平地型リトリートを推進し、交流人口の増加に努めます。

### 『公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち』

シティプロモーション推進方針に基づき、本市が持つ潜在的な魅力を引き出し、広報紙やホームページ、SNSなどによる積極的、効果的な情報発信に努めるなど、関係・交流人口の創出、シビックプライドの醸成を図るほか、わくわく地方生活実現支援金や定住促進通学支援金などを引き続き支給し、移住定住の促進に努めてまいります。また、ふるさと納税制度を活用し、自主財源を確保するとともに、本市の特産品を返礼することにより地域振興を図るほか、本市の持つ魅力を効果的にPRし、寄附額のさらなる増加に努めます。さらに、日本語教室指導者の技術力向上を図るため指導技術研修を拡充し、多文化共生社会の形成を推進してまいります。加えて、DX推進アドバイザーを活用しながら、デジタル技術による業務の効率化を推進するとともに、市公式LINEなどによる申請手続きや情報発信の充実を図り、行政サービスの向上に努めてまいります。

## 令和8年度 一般会計予算

歳入			歳出		
項目	予算額(千円)	構成比(%)	項目	予算額(千円)	構成比(%)
市税	12,510,179	36.8	総務費	3,377,861	9.9
地方交付税	3,610,000	10.6	民生費	11,615,996	34.2
国庫支出金	4,899,393	14.4	衛生費	4,371,382	12.9
県支出金	2,739,173	8.1	商工費	2,443,765	7.2
繰入金	3,068,468	9.0	土木費	3,296,992	9.7
諸収入	1,432,956	4.2	教育費	4,548,092	13.4
市債	2,009,000	5.9	公債費	2,393,111	7.0
その他	3,710,831	11.0	その他	1,932,801	5.7
計	33,980,000	100.0	計	33,980,000	100.0

## 令和8年度 特別会計予算

会計別	予算額(千円)	
国民健康保険特別会計	7,875,069	
介護保険特別会計	7,233,943	
後期高齢者医療特別会計	1,583,950	
渡瀬南部第二産業団地造成事業特別会計	739,972	
下水道事業会計	収益的支出	1,617,519
	資本的支出	1,455,799